

OrbisNet 電子平板機能 簡単操作マニュアル

【概要】

GNSS 現在地を中心に、測量データを地図上に描画・記録できます。測点の追加、結線、距離・面積計測、テキスト注記などが可能です。

【基本操作】

1. 【現在地表示】

GNSS 接続時に現在地が自動更新され、青い円で表示されます。

2. 【測点追加】

右下の「+」ボタンをタップすると、現在地に測点 (P1, P2, ...) が追加されます。

3. 【任意点追加】

画面の任意の位置をタップすると、任意点 (M1, M2, ...) を追加できます。

4. 【結線】

「実線」「点線」「長破」から線種を選び、2つの点をタップすると点同士を結線できます。

5. 【ズーム操作】

ピンチズーム (2本指) または右側のズームボタンで拡大・縮小できます。

「+」ボタン : ズームイン・「-」ボタン : ズームアウト

「全体」ボタン : 全点を表示・「Reset」ボタン : ズームリセット

6. 【画面移動】

1本指でドラッグすると画面を移動できます。

7. 【点の削除】

削除したい点を長押し → 点が削除されます。

【高度な機能】

1. 【連続結線（折れ線）】

「連続」 ボタンをオンにして測点を追加すると、自動的に前の点と結線されます。

例：P1 — P2 — P3 — P4

2. 【多角形計測】

「多」 ボタンで多角形モードをオンにし、「+」 ボタンで3点以上の頂点を追加します。

「閉」 ボタンをタップすると、最後の点と最初の点が結線されます。

3. 【距離計測】

「距離」 ボタンで距離計測モードをオンにし、2点を順にタップすると距離が表示されます。

2番目の点をタップすると、距離が表示されます。

例：「P1 → P2 : 123.45 m」

4. 【面積計測】

「面積」 ボタンで面積計測モードをオンにし、3つ以上の点をタップして頂点を選択します。

もう一度「面積」 ボタンをタップすると、面積が計算・表示されます。

例：「計測面積 : 1234.56 m²」

5. 【テキスト注記】

「注記」 ボタンをタップし、「現在地」または「任意点」を選択して注記を追加できます。

テキスト内容、フォントサイズ、色を指定して追加できます。

テキストを長押しすると削除できます

6. 【Undo/Redo】

「↶」で直前の操作を取り消し、「↷」で取り消した操作を戻せます。

【ファイル操作】

1. 【保存】

「保存」ボタンをタップしてファイル形式を選択します。

CSV : GIS/CAD 用

KML : Google Map 用

DXF : CAD 用 (JW_CAD 対応)

すべてのファイルは以下に保存されます。

Documents/OrbisNet/

2. 【読込】

「読込」ボタンをタップし、保存済みファイルを選択して復元します。

3. 【基準点読込】

「基準点」ボタンをタップ → CSV ファイルを選択。

ファイル形式 : name, X(m), Y(m), Z(m)

グレー色で表示されます。

4. 【クリア】

「クリア」ボタンをタップすると、すべてのデータを削除します。

【座標について】

X 軸：北方向（上が正）

Y 軸：東方向（右が正）

Z 軸：標高（メートル）

【注意事項】

GNSS 未接続時は現在地が更新されません。

DXF ファイルを **JW_CAD** で開くときは、単位を「m」に設定してください。

誤ってクリアしても、Undo で復元できます（Undo 履歴がある場合）。

【Q & A】

Q1. 2つの点を結ぶには？

A: 「実線」「点線」「長破」から線種を選び、2つの点をタップしてください。

Q2. 折れ線を描くには？

A: 「連続」ボタンをオンにして、「+」ボタンで測点を追加してください。

Q3. 面積を計測するには？

A: 「面積」ボタンで3つ以上の点をタップし、もう一度「面積」ボタンをタップしてください。

Q4. ファイルを保存するには？

A: 「保存」ボタンをタップしてファイル形式を選択します。復元用はJSON、CAD用はDXFです。

Q5. 基準点を追加するには？

A: 「基準点」ボタンをタップしてCSVファイルを選択します。